

郵政宿舎跡地で 認可保育園建築の 工事が始まりました

日本共産党

区議会議員 森 とおる

区役所控室 3981-1429

自 宅 6912-0135

2018年 6月 20日発行



地域のみなさんと続けてきた活動が実り

住環境を守り、認可保育園が実現します

説明会の開催を強く

日本郵便に求めています

5月末から上池袋2丁目
の郵政宿舎跡地において認
可保育園の建築工事が始ま
りました。敷地面積は1千
平米、木造平屋建て、定員
70名、工期は来年1月ま
で、建築主は日本郵便株式
会社、保育園の運営は株式
会社ニチイ学館、開設は来
年4月です。

2011年、郵政宿舎が
空家となりました。これだ
けの広い整形地です。予想
されたのは不動産会社が買
い取りマンションが建つ

か、あるいは3階建て戸建
住宅がひしめき合うかどち
らかです。郵政は民営化さ
れましたが元々は国民の財
産の土地です。そのような
使い方は認められず、私は
日本郵便と豊島区に対し、
区に所有権を移し、福祉の
複合施設にするように地域
のみなさんと力を合わせて
活動してきました。

2016年末、それまで
区への移管と区有施設に難
色を示し、民間へ売却を進
めようとしてきた日本郵便

は方針を転換し、認可保育
園の開設を決断しました。
この地域には保育園が不
足しています。しかも園児
と近隣に配慮のある木造平
屋建てです。住環境が壊さ
れることなく、地域の要望
の強かった認可保育園が実
現します。

今後も、私は地域のみな
さんの意見を、日本郵便、
ニチイ学館、工事を請け負
う住友林業に対し反映する
ように働きかけていきま
す。

昨年8月、日本郵便から
の要請で、私は参議院議員
会館の吉良よし子事務室に
おいて地域のみなさんと共
に説明を受けました。その
時の約束は、住民説明会を
その年の秋頃に開催する
いうものでした。ごく当然
のことです。ところが説明
会を行わずに建築工事が始
まりました。

平屋の保育園が建築され
ることが伝わっていないた
めに何が建つか不安の声
が飛び交います。

また土地の前は狭い道路
であり、車がすれちがうだ
けでも大変です。さらに周
辺の道路は狭いため工事
車両がどのルートを通るの
か、特に通学・通園に危険
がないかなど心配の声が相
次ぎます。

日本郵便はこうした地域
の不安・心配の声を聞き、
きちんに対応する責任があ
ります。
現在、私は改めて区を通
して直ちに住民説明会を行
うように求めています。



現在の郵政宿舎跡地

【これまでの経緯と私の活動】

◆2011年 <日本郵政(当時)に1回目の売却要請>

宿舎が空家となり、私は「区に売却できないか」と要請したところ、日本郵政は「自社活用を考えている」と回答。同時に議会で土地購入を提案。区は「十分検討した上で答えを出す」と答弁。その後も議会で取り上げてきました。

◆2015年

宿舎の解体工事

◆2016年4月 <日本郵便と2回目の話し合い>

私は地域のみなさんと「区に土地を売却してほしい」と要請。日本郵便は「自ら不動産活用するのか、売却するのか決まっていない。売却するとしても区を優先できない」と回答。

◆2016年7月 <区が日本郵便に打診>

区も日本郵便に「土地を購入して保育園の用地としたい」と打診。日本郵便は「自ら不動産活用するのか、売却するのか決まっていない。売却になれば一般競争入札なので区に優先権はない」と同様の回答。

◆2016年10月 <日本郵便と3回目の話し合い>

私は地域のみなさんと再度「区に土地を売却してほしい」と要請。日本郵便は「一般競争入札で売却の方向に進みつつあり、区を優先できない」と民間に売却することを示唆。

◆2016年12月 <日本郵便と4回目の話し合い>

私は改めて状況を確認したところ、日本郵便は「自ら認可保育園を開設する」と方針転換を表明し「区と認可の協議に入った」と回答。

◆2017年8月 <日本郵便と5回目の話し合い>

日本郵便からの要請で、私は地域のみなさんと説明を受けました。「木造平屋建て70名規模の認可保育園を2019年4月開設予定で計画しており、運営は保育専門業者に委託する」「近隣への住民説明会は今年の秋頃に開催する予定」とのことでした。